

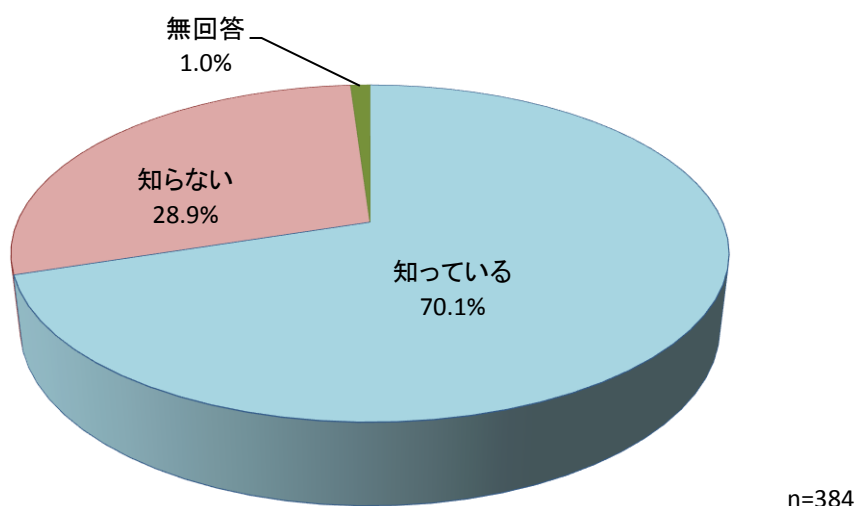
10. いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会について

(1) 栃木県で国体が開催されることの認知度

◇ 「知っている」が約7割

問35	あなたは、栃木県で国体が開催されることを知っていますか。	(○は1つ)
		n=384
1	知っている	70.1%
2	知らない	28.9%
	(無回答)	1.0%

<図IV-10-1>全体



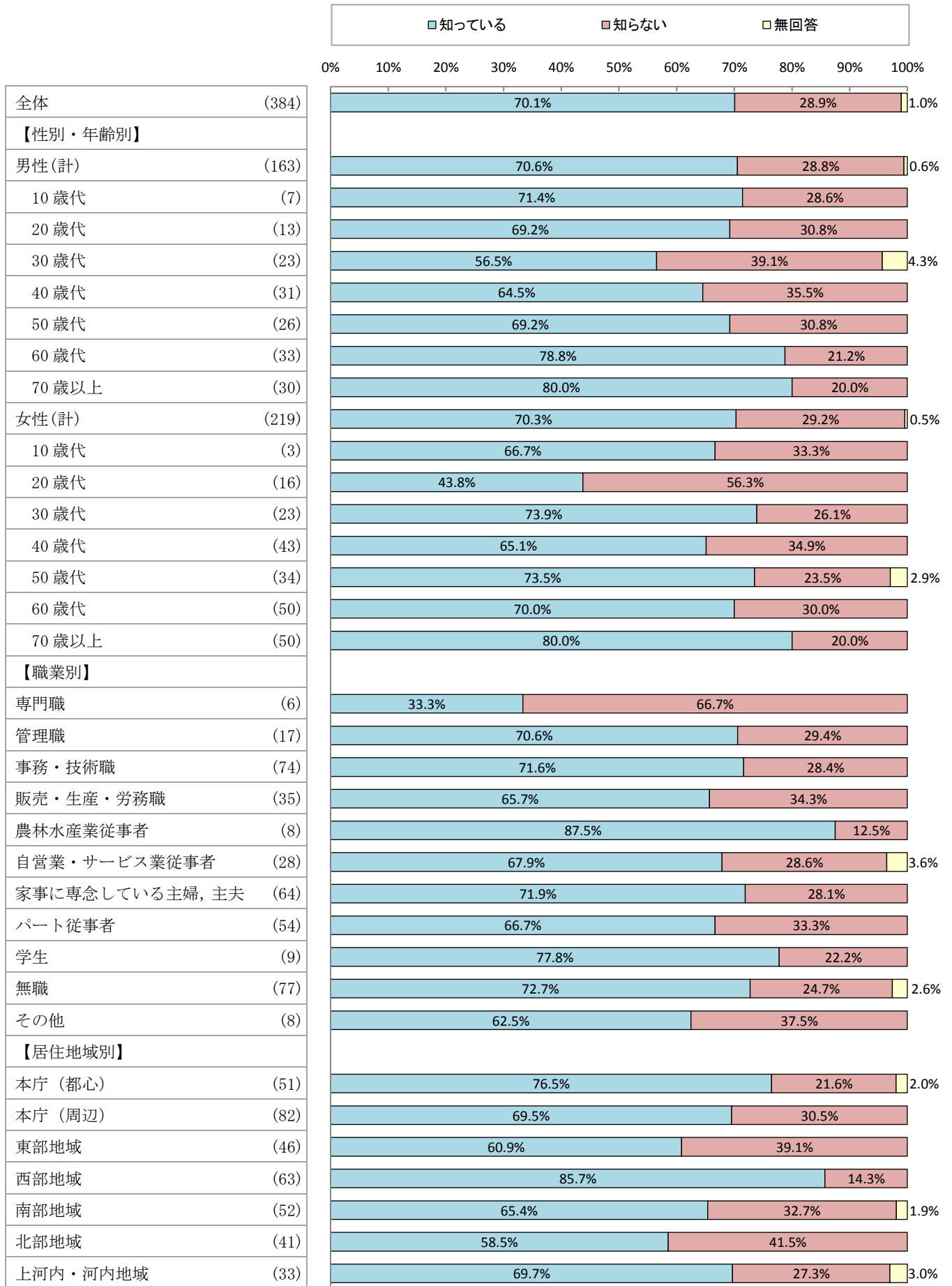
栃木県で国体が開催されることを知っているかについては、「知っている」が70.1%で、一方、「知らない」は28.9%であった。(図IV-10-1)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<男性/70歳以上><女性/70歳以上>が80.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が78.8%であった。一方、「知らない」は<女性/20歳代>が56.3%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が39.1%であった。(図IV-10-2)

職業別でみると、「知っている」は<農林水産業従事者>が87.5%で最も高く、次いで<学生>が77.8%であった。一方、「知らない」は<専門職>が66.7%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が34.3%であった。(図IV-10-2)

居住地域別でみると、「知っている」は<西部地域>が85.7%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が76.5%であった。一方、「知らない」は<北部地域>が41.5%で最も高く、次いで<東部地域>が39.1%であった。(図IV-10-2)

<図IV-10-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別

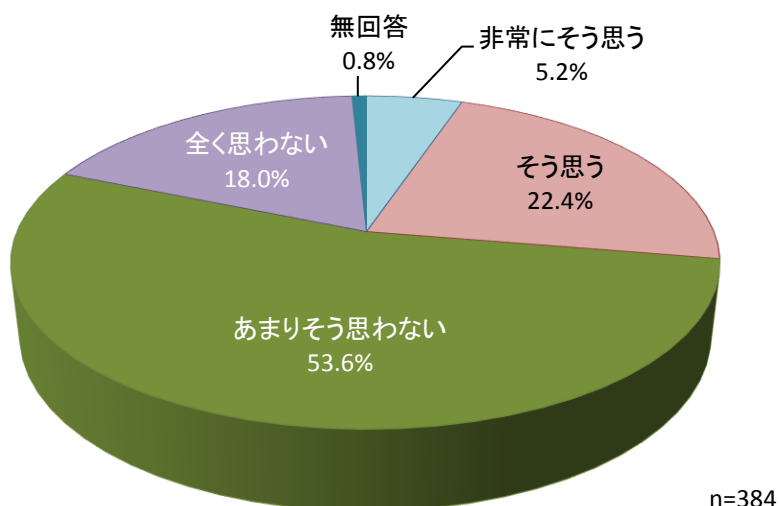


(2) ボランティア活動で、とちぎ国体に参加したいか

◇ 「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせた【そう思う（計）】が3割弱

問36	あなたは、ボランティア活動（花いっぱい運動・環境美化活動など）で、とちぎ国体に参加したいと思いますか。	(○は1つ)
		n=384
1	非常にそう思う	5.2%
2	そう思う	22.4%
3	あまりそう思わない	53.6%
4	全く思わない	18.0%
	(無回答)	0.8%

<図IV-10-3>全体



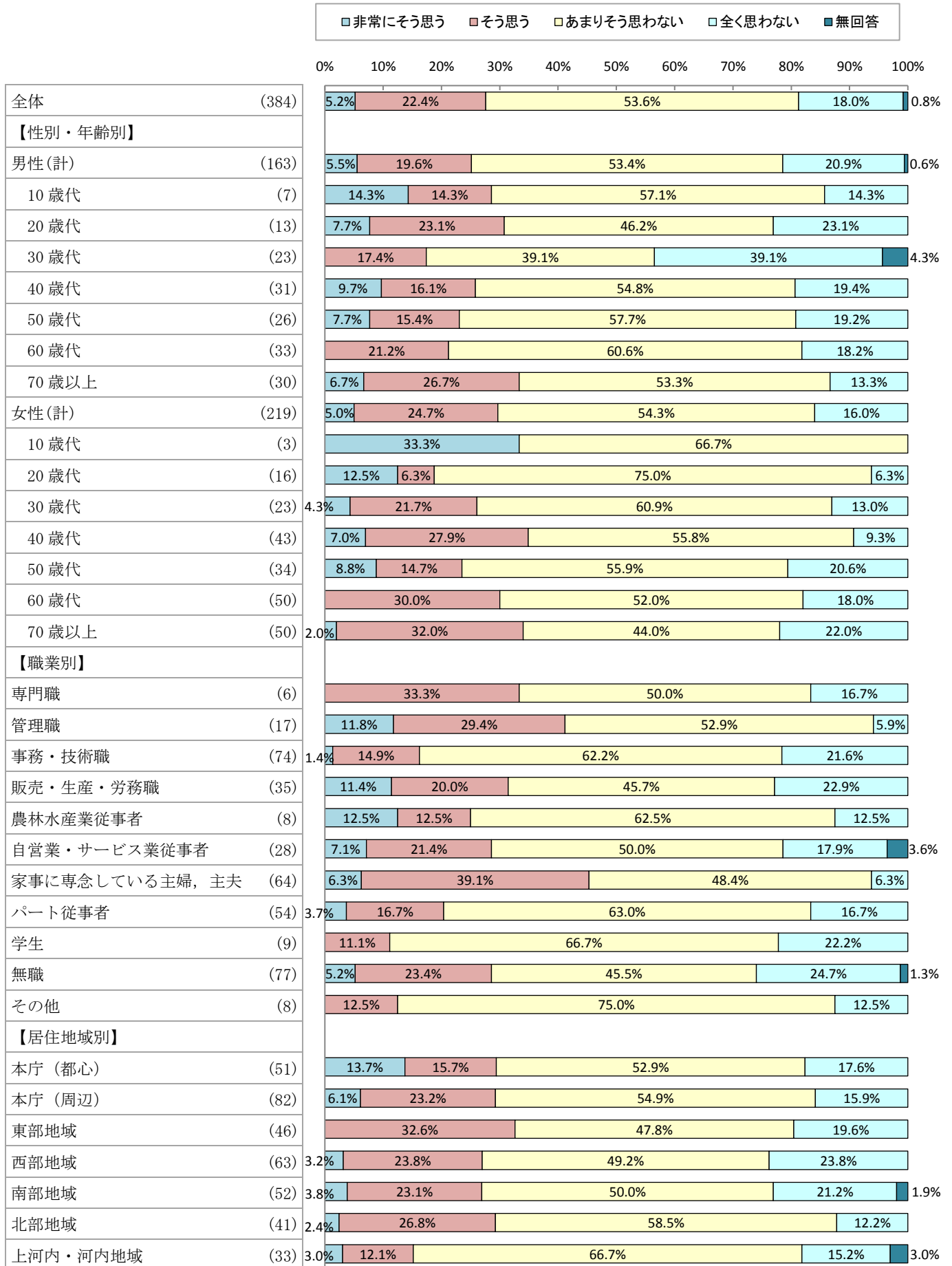
ボランティア活動で、とちぎ国体に参加したいかについては、「非常にそう思う」が 5.2%、「そう思う」が 22.4%で、これらを合わせた【そう思う（計）】が 27.6%であった。一方、「あまりそう思わない」53.6%、「全く思わない」18.0%で、これらを合わせた【そう思わない（計）】は 71.6%であった。(図IV-10-3)

性別・年齢別でみると、【そう思う（計）】は<女性/40歳代>が 34.9%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が 34.0%であった。一方、【そう思わない（計）】は<女性/20歳代>が 81.3%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が 78.8%であった。(図IV-10-4)

職業別でみると、【そう思う（計）】は<家事に専念している主婦、主夫>が 45.4%で最も高く、次いで<管理職>が 41.2%であった。一方、【そう思わない（計）】は<学生>が 88.9%で最も高く、次いで<事務・技術職>が 83.8%であった。(図IV-10-4)

居住地域別でみると、【そう思う（計）】は<東部地域>が 32.6%で最も高く、次いで<本庁（都心）>が 29.4%であった。一方、【そう思わない（計）】は<上河内・河内地域>が 81.9%で最も高く、次いで<西部地域>が 73.0%であった。(図IV-10-4)

<図IV-10-4>性別・年齢別／職業別／居住地域別



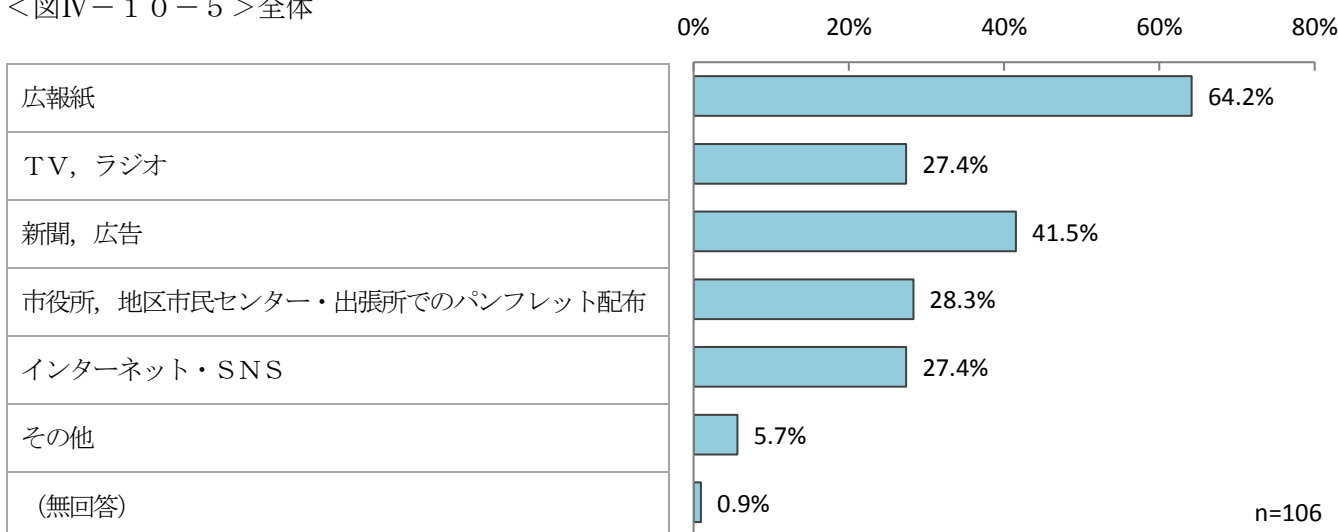
(3) ボランティア情報の入手方法

◇ 「広報紙」が6割半ば

問37 問36で「①非常にそう思う」「②そう思う」と答えた方にお聞きします。
 あなたがボランティア情報を得るには、どのような方法が情報を得やすいですか。
 (〇はいくつでも)

	n=106
1 広報紙	64.2%
2 TV, ラジオ	27.4%
3 新聞, 広告	41.5%
4 市役所, 地区市民センター・出張所でのパンフレット配布	28.3%
5 インターネット・SNS	27.4%
6 その他	5.7%
(無回答)	0.9%

<図IV-10-5>全体



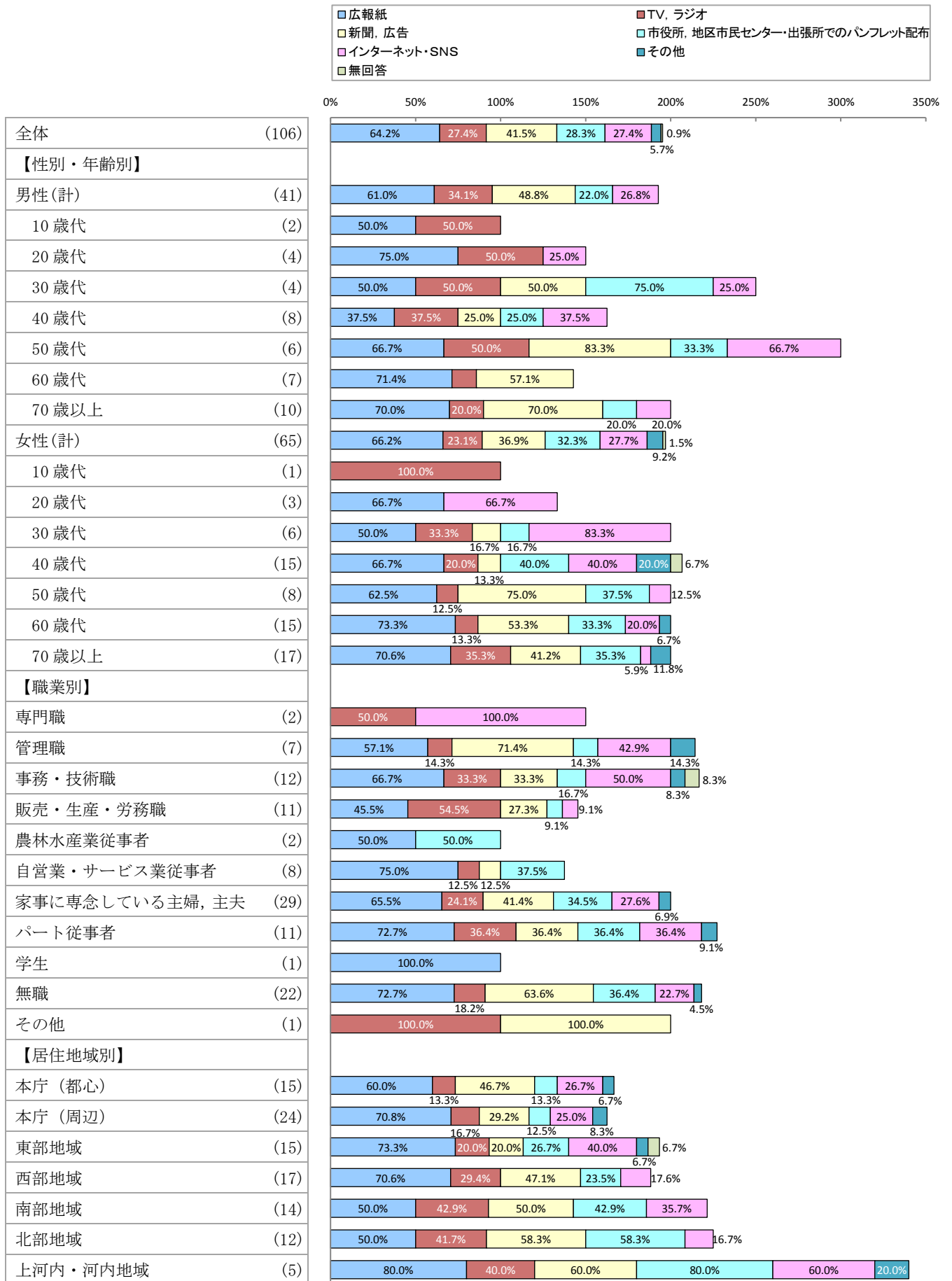
ボランティア情報の入手方法については、「広報紙」が64.2%で最も多く、次いで「新聞・広告」が41.5%、「市役所、地区市民センター・出張所でのパンフレット配布」が28.3%と続いている。(図IV-10-5)

性別・年齢別でみると、「広報紙」は<男性/20歳代>が75.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が73.3%であった。「新聞・広告」は<男性/50歳代>が83.3%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が75.0%であった。(図IV-10-6)

職業別でみると、最も回答者数の多かった<家事に専念している主婦, 主夫>は「広報紙」が65.5%、「新聞・広告」が41.4%であった。(図IV-10-6)

居住地域別でみると、最も回答者数の多かった<本庁(周辺)>は「広報紙」が70.8%、「新聞・広告」が29.2%であった。(図IV-10-6)

<図IV-10-6>性別・年齢別／職業別／居住地域別



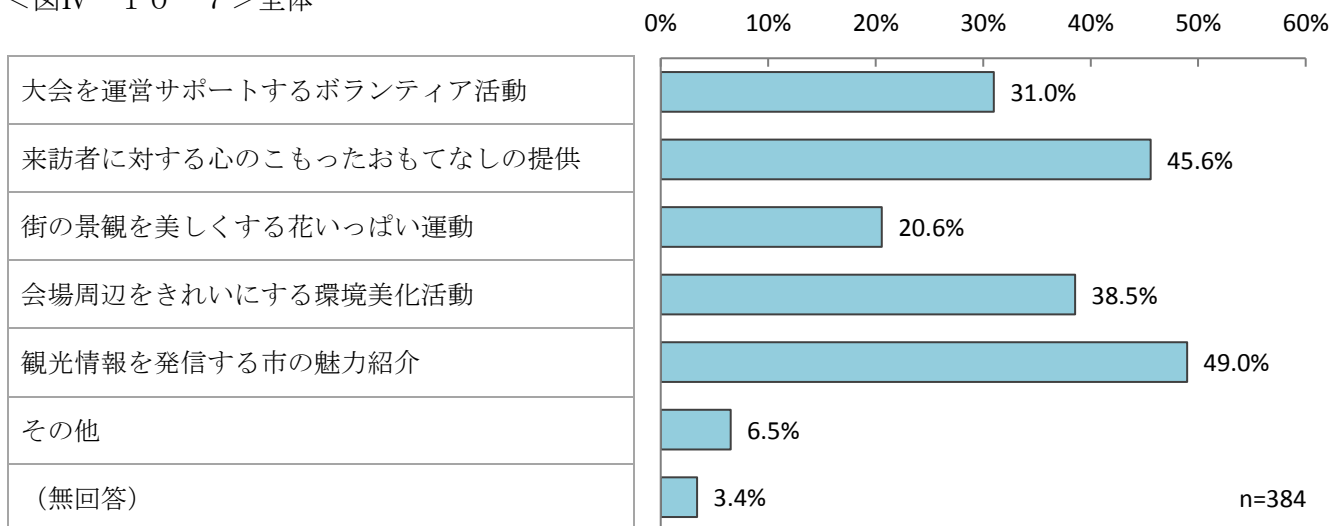
(4) 国体を盛り上げるために重要だと思うこと

◇ 「観光情報を発信する市の魅力紹介」が約5割

問38 あなたは、多くの大会参加者・観覧者が来訪する国体を盛り上げるために、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

	n=384
1 大会を運営サポートするボランティア活動	31.0%
2 来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供	45.6%
3 街の景観を美しくする花いっぱい運動	20.6%
4 会場周辺をきれいにする環境美化活動	38.5%
5 観光情報を発信する市の魅力紹介	49.0%
6 その他	6.5%
(無回答)	3.4%

<図IV-10-7>全体



国体を盛り上げるために重要だと思うことについては、「観光情報を発信する市の魅力紹介」が49.0%で最も高く、次いで「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」が45.6%、「会場周辺をきれいにする環境美化活動」が38.5%と続いている。(図IV-10-7)

性別・年齢別でみると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<女性/40歳代>が62.8%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が60.9%であった。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<男性/20歳代><男性/50歳代>が61.5%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が60.0%であった。(図IV-10-8)

職業別でみると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<専門職>が66.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が57.8%であった。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<管理職>が64.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が57.8%であった。(図IV-10-8)

居住地域別でみると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<本庁(都心)>が54.9%で最も高く、次いで<南部地域>が53.8%であった。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<上河内・河内地域>が54.5%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が51.2%であった。(図IV-10-8)

<図IV-10-8>性別・年齢別／職業別／居住地域別

